



2021年5月14日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
 問合せ先 取締役 鎌 谷 賢 之
 電話番号 03-5337-1337
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

通期連結業績と業績予想との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社の 2021 年 3 月期（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）の通期連結業績と業績予想に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、「2021 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔IFRS〕（連結）」において、2021 年 3 月期（2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）の配当予想を未定としておりましたが、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021 年 3 月期通期連結業績予想と業績予想との差異

(1) 差異の内容

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	172,000	2,000	200	100	50	0.09
当期実績 (B) (2021 年 3 月期)	169,649	1,241	△817	1,826	1,556	2.80
増減額 (B-A)	△2,351	△759	△1,017	1,726	1,506	
増減率 (%)	△1.4	△38.0	-	1,726.0	3,012.0	
(ご参考) 前期実績 (2020 年 3 月期)	193,461	△777	△3,202	△5,491	△6,046	△10.87

※前期実績については、以下の理由により、2020 年 6 月 10 日に公表した「2020 年 3 月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」に記載の値と異なっております。

- ・売却等により非継続事業が増加したため（2021 年 3 月期に非継続となった会社：株式会社エス・ワイ・エス、北斗印刷株式会社、株式会社日本文芸社）

(2) 差異の理由

2021 年 3 月期は、第 1 四半期において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う店舗の臨時休業などの影響がありました。店舗の営業再開後は多くのグループ傘下店舗でいち早く客足が戻ったほか、EC に注力しているグループ企業の売上が大きく伸ばしたこと等により、第 2 四半期以降、連結売上収益も順調に回復いたしました。また、利益面につきましては、2019 年 3 月期から続けてきた構造改革により収益構造が改善したことや、第 2 四半期以降売上が回復する中でも、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う経営対策」として前期末から行っているグループ横断的なコスト削減を継続したことが功を奏し、通期で営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益の黒字化を達成いたしました。

一方、2021 年 4 月に 3 回目となる緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期は依然として不透明であると認識しております。そのような中、当社では新型コロナウイルス感染拡大のさ

らなる長期化に備えて不採算店舗の閉鎖や収益性の低い店舗等の固定資産や在庫等に係る評価を今期末に実施し、前回発表予想の前提に含まれていなかった追加の一過性損失等を870百万円計上した結果、営業利益および税引前当期損益が前回発表予想から下回りました。

また、2021年3月25日に公表いたしました、当社連結子会社である株式会社日本文芸社の株式譲渡で発生した売却益が確定し、前回発表予想の前提に含まれていた売却益から追加で約450百万円を計上しました。また、前期末から推進してきたグループ横断的なコスト削減を中心とした経営基盤強化のための施策の結果、RIZAP株式会社において収益性が改善していることに鑑み、RIZAP株式会社での繰延税金資産の認識について検討を行っておりましたが、2021年3月22日の業績予想公表時点では結論には至っておりませんでした。その後の慎重な検討の結果、RIZAP株式会社において繰延税金資産約2,500百万円を認識することとなったため、法人所得税費用が大幅に減少することになり、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益が前回発表予想から上回りました。

以上の理由により、2021年3月22日に公表いたしました業績予想との差異が生じております。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 配当予想修正の理由

上述のとおり、当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で前期比で減収となったものの、2019年3月期から続けてきた構造改革により収益構造が改善したことや、グループ全体のコスト削減を継続したことにより増益となりました。しかし、消費者の購買意欲回復を含めた新型コロナウイルス感染拡大による影響の収束時期は依然として見通せない状況です。そのため、非対面事業など新たな収益源創出のための投資資金の確保も行いながら、より保守的な財務運営を実施する必要があると考えております。よって、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当については無配とさせていただきます。

以 上